

学校名 羽生市立羽生南小学校
所在地 羽生市南6丁目5番地1
電話 048-562-1901

1 本校の概要

本校は、羽生市教育委員会・埼玉県国語教育研究会より委嘱を受け、国語科の研究を進めるとともに、同市教育研究会よりグループ研究指定を受け「図書館・ブックランドの活用を核とした言語活動の充実～ビブリオバトルや読書郵便の交流を通して～」を掲げ、全職員が一丸となって、地域・家庭との協働による読書活動に取り組んでいる。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・言語活動の充実を図る取組
- ・家庭や地域との連携

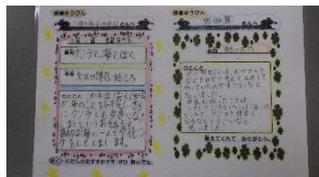
(2) 実践の概要

ア 読書郵便

「読書郵便」とは、本を読んだ感想を交流する手紙のことで、自分が読んだ本についての感想やおすすめを書き、本と一緒に郵便を渡し、返事を書いてもらう。

月1回のペースで実施し、1学期は親子で、2～3学期は友達と行っている。

今年度は高知県の小学校や市内の小学校とも交流を行った。



イ ビブリオバトル

ビブリオバトルとは、お気に入りの本を紹介し合うゲームのことで、「知的書評合戦」とも呼ばれている。

〈公式ルール〉

- ①参加者が読んで面白かった本を持って集まる。
- ②決められた時間内で紹介する。
- ③発表の後に質疑応答を行う。
- ④自分が読みたい本に投票し、「チャンプ本」を決定する。

本校では、学期に1回実施している。紹介したい本を決めて、班、クラスの順でチャンプ本を選び、低・中・高のブロックごとにビブリオバトル集会を開催している。

なお、集会の司会進行、掲示等は図書委員会児童が行っている。

〈ビブリオバトルの流れ〉

①班で



②クラスで



③ブロックで (ビブリオバトル集会)



3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 読書郵便やビブリオバトルへの取組により読解力や表現力の向上に繋がった。

イ ビブリオバトルの実践により表現力やコミュニケーション能力が向上した。

(2) 課題

ア 今後は、調べ学習の充実を図り情報検索・活用能力等も向上させていく。

イ 読書郵便の輪を市内に広げていく。

(3) おわりに

今後も児童の実態に合った活動を充実させ、読書活動の質を高めていきたい。